

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～第19報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
環境監視部門 生物圏係  
平成29年8月7日

## 1.最も数が多かった種類(優占種)

植物プランクトン第1優占種



*Anabaena affinis*  
(*Dolichospermum affine*)  
(アナベナ アフィニス)

藍藻綱

細胞は球形ないし樽型で、単独または束状の糸状体を形成する。異質細胞は球形であり、アキネートは楕円形である。

動物プランクトン第1優占種

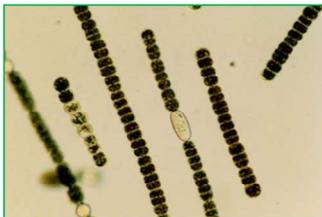


*Diffflugia* sp.  
(ツボカムリ)

肉質虫類

殻を持ったアメーバである。殻は楕円形で表面に砂粒を付着させている。殻の下側中央の穴から擬足を伸ばして移動する。

## 2.計数された異臭味原因プランクトン



*Anabaena macrospora*



*Phormidium tenue*

コメント

植物プランクトンでは、藍藻に属するアオコ形成種アナベナ・アフィニス(*Anabaena affinis*)が優占種となった。体積で見ても、アナベナ・アフィニス(Anabaena affinis)が優占種となった。網別の体積では、藍藻類が総体積の約78%、珪藻類が約10%を占めた。動物プランクトンでは、肉質虫類のなかまのツボカムリ(*Diffflugia* sp.)が140個体/Lで優占種となった。ピコ植物プランクトンは260,000細胞/mLとなり、輝橙色のものが90%、深赤色のものが10%であった。また、かび臭物質を生産するアナベナ・マクロスポーラ(*Anabaena macrospora*) (物質:ジエオスミン)、フォルミディウム・テヌエ(*Phormidium tenue*) (物質:2-MIB)が計数された。

## 3.計数された主なプランクトンとその数(個体数)

(1)動物プランクトン

第 1 優 占 種		(個体/L)
肉質虫類	<i>Diffflugia</i> sp.	140
第 2 優 占 種		(個体/L)
甲 殻 類	Nauplius	100

\* 個体数については、プランクトンネットNXXX25(目合い41μm)で採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
環境監視部門 生物圏係

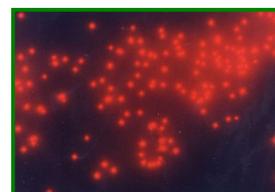
## (2) 植物プランクトン

平成29年8月7日

第19報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	数 体積	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	3		
(藍) <i>Microcystis</i> sp.*	40		
(藍) <i>Aphanothece clathrata</i> *	20		
(藍) <i>Aphanizomenon flos-aquae</i> *	5		
(藍) <i>Anabaena macrospora</i> *★	11		
(藍) <i>Anabaena affinis</i> *	420	◎	◎
(藍) <i>Anabaena circinalis</i> *	1		
(藍) <i>Anabaena flos-aquae</i> *	90		○
(藍) <i>Phormidium tenue</i> *★	10		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	80		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	120		
(珪) <i>Aulacoseira ambigua</i>	14		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	10		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	2		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	100		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	170	○	
(み) <i>Trachelomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Gonium pectorale</i>	16		
(緑) <i>Dictyosphaerium pulchellum</i>	40		
(緑) <i>Actinastrum hantzschii</i> var. <i>fluviale</i>	80		
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	40		
(緑) <i>Cosmocladium constrictum</i>	16		
(藍) 藍藻綱	600	45.5	78.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	246	18.7	10.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	270	20.5	9.6
(み) みどり虫藻綱	10	0.8	0.1
(緑) 緑藻綱	192	14.6	2.2
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1318	総体積	2.07E+06
種 類 数	24	(μm <sup>3</sup> )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/mL)  
ただし\*印の種は群体数(群体/mL)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) ★: 異臭原因プランクトン
- 注4) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン  
1,000倍G励起で撮影

## (3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	8月7日 細胞数/mL
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	260,000

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2μm(1μmは1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起(緑色光照射)で輝橙色に輝く種類と深赤色に見える種類があります。